

資料館だより

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告
- 3… 資料館での雑感／平成27年11月～28年2月移管・寄贈資料
- 4… 開催案内／平成27年度入館者数

加賀藩校「経武館」扁額

TOPICS

「博物館に相当する施設」の指定を受けました

金沢大学資料館は、平成28年4月26日付けで文部科学大臣から「博物館に相当する施設」の指定を受けました。

博物館法による博物館には、「登録博物館」と「博物館に相当する施設」があります。「博物館に相当する施設」とは、博物館の事業に類する事業を行う施設で、文部科学大臣又は都道府県等の教育委員会が指定するものです。金沢大学資料館は、国又は独立行政法人が設置する施設に該当するため、文部科学大臣から指定を受けました。

本学資料館は、これまで博物館と同種の事業を行う「博物館類似施設」でしたが、今回の指定により、博物館法の適用を受ける施設になりました。「博物館に相当する施設」としては、北陸三県の大学では初めての施設となります。

今回、指定を受けたことを契機として、教職員の皆様の協力をいただきながら、博物館としての活動を一層充実させ、教育、研究、そして社会に貢献する事業を行ってまいります。



ようこそ、資料館へ

平成27年度の入館者数が8,000人を超えました

資料館だより第47号で平成26年度入館者数が6,000人を超えたことをお知らせしましたが、平成27年度も着実に増加し、8,000人を超える入館者がありました。

平成27年度は、「資料館コレクション展2015」、埋蔵文化財調査センターと共催の特別展「加賀藩与力 武士のほまれ」、学生企画展「破かれた恋愛小説」などの企画が好評でした。



展示活動報告

学生
企画展

「破かれた恋愛小説 ～『寒潮』に翻弄された四高生～」

会期 平成27年12月9日～平成28年2月10日 会場 資料館展示室



平成26年度に引き続き、博物館実習を受講している学生の企画による展示を行いました。今回は、実習学生自らがTV番組に出演し展示のPRを行うなど、力のこもった展示となりました。内容は資料館だより第49号に掲載していますが、好評につき、10月29日に開催される第10回ホームカミングデイに合わせて、金沢城内での再展示も予定しています。



展示風景

パネル展

ドイツ統一への道

会期 平成28年2月17日～3月2日 会場 資料館展示室



2015年は、東西ドイツが1990年に再統一されてから25周年に当たります。今回のパネル展はこれを記念し、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、石川日独協会、金沢大学国際機構と共催で開催したものです。会場となった資料館展示室には、東西ドイツ統一の歴史を振り返る20枚のパネルを展示しました。2月18日には、パネル展の主催者でもある大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館のインゴ・カールステン総領事も会場を視察に訪れました。

特別
講演会

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館総領事講演会

会期 平成28年2月18日 会場 中央図書館AV室

『ヨーロッパにおけるドイツの役割 再統一から25年を経て』と題し、インゴ・カールステン大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館総領事による講演会を開催しました。

本講演会は、パネル展「ドイツ統一への道」の開催に合わせて企画したもので、福森義宏情報担当理事の開会挨拶に続き、奥野正幸資料館長の司会で進められました。講演会には本学の学生及び教職員のほか、市民を含めた72名が出席し、再統一後から現在まで、ドイツがヨーロッパにおいて果たしてきた役割についての講演に熱心に聞き入っていました。

会場の参加者からは多くの質問が出されるなど、ドイツへの関心の高さが伝わってきました。講演会終了後、附属図書館館長室で山本博国際担当理事も交えて総領事との懇談が行われ、本学とドイツ連邦共和国の交流を深める機会となりました。



講演中のカールステン・ドイツ総領事

資料館での活動を振り返って



私は、2013年8月に金沢大学に着任しました。人文学類で博物館学の授業を担当することになったことから、着任したときから金大資料館とコラボした授業を考えていました。当時の資料館館長であった古畑先生や資料館職員の笠原さんには、私の金大最初の博物館学の授業から様々なサポートをしていただきました。

金大資料館のことは、残念ながら着任するまで何も知りませんでした。古畑先生や笠原さんのレクチャーを聞いているうちに、この資料館には実にさまざまな資料が保管されていて、中でも第四高等学校時代の教材であった教育掛図や物理実験機器などは、門外漢の私でも貴重な学術資料だということがわかりました。金沢が戦災を受けていないとか、資料を大切にする先人が多かったなどいろんな要因があるのだと思いますが、金大の前身校以来のたくさんの資料が、しかも良い状態のままで保管されているというのは、さすがに国立大学だと思いました。

そして、2014年4月からは、奥野館長の就任に伴い、資料館副館長に任命されました。資料館での活動で何よりも思い出深いのは、2015年6月に金沢大学において、全国の大学博物館関係者およそ100名を招いて大学博物館等協議会(シンポジウムと研究発表会)を開催したことです。前年にその下見として、当時の学会開催校であった愛媛大学に行きましたが、愛媛大学ミュージアムの組織や施設の充実ぶりに驚かされて、この学会を金大で開催することができるのかと、ものすごく気が重くなった覚えがあります。結局、それは杞憂に終わり、シンポジウムのテーマや展示紹介など、資料

館らしさが出せたイベントになりました。それにしても、この協議会開催は、資料館×情報部×学生アルバイトの総力戦でしたね。

奥野館長のもとで、資料館副館長として資料館活動の質を高めようとあれこれ考えましたが、いくつかはアイデア止まりで、実現しなかったことが多いです。例えば、金沢市内での資料館企画の展覧会の開催などは、なんとか実現したかったですね。残念ながら金大資料館に足を運ぶ市民が多くないので、山を降りて金沢市内で展覧会を企画してみたかったです。でも、企画展開催の可能性はいくつか検討したので、近い将来、実施できるのではないかと思います。

資料館に関わってもっとも良かったのは、私が担当している博物館学科目を充実させられたことです。資料館と情報部職員の皆さんの全面的なバックアップのおかげで、実際の資料館活動とからめて授業を運営できたことは、私にとっても学生にとってもいい経験になりました。特に、2回実施した学生企画展は、資料館と博物館学科目とのすばらしいコラボだったと思います。学生企画展の宣伝にと学生諸君が出演したテレビちゃんの番組に、彼らへの演技指導と引率をかねて、土地情報部部长と笠原さんと一緒に行きましたが、理屈なしに楽しかったですね。

2年半という長くない間でしたが、資料館職員の皆様、情報部の皆様には、大変お世話になりました。おかげさまで資料館活動の多様な側面を勉強させてもらいました。金大資料館のさらなる発展を祈りつつ、またこれからも金大資料館の活動をサポートしていきたいと思います。

平成28年3月吉日
初代資料館副館長 有村 誠

平成27年11月～平成28年2月
移管・寄贈資料

移管・寄贈いただきました資料は大切に保管し、貴重な資料として活用させていただきます。あらためて感謝申し上げます。

移管

- ・絵はがき「空から見た金沢大学医学部の変遷」(1組)
- ・アルバム「キャンパス点描」(1冊)

情報部
総務部



「キャンパス点描」から

寄贈

- ・疎開中の理化学研究所仁科研究室宇宙線実験室への四高生の入所式写真(1点)
- ・第四高等学校 四稜星ループタイほか(3点)
- ・松村健二氏個人アルバム(3冊)
- ・記録ノート「工学展S32.5.31～H6.2土木工学科委員」(1点)、学習ノート「地質力学」ほか(8点)

亀淵 迪氏
古田暢子氏
松村夏樹氏
安達 實氏



四高ループタイほか

開催案内

企画展

金大資料館 コレクション展2016：ナニコレ

会期 平成28年4月6日～9月21日 会場 資料館展示室

資料館の2016年度最初の展示は「金大資料館 コレクション展2016：ナニコレ」と題しています。



資料館には、学術資料約76,000点、文書資料約11,000点という膨大な数の資料が保存されています。これらは前身校を含む金沢大学の長い歴史を象徴する貴重な史料です。中には現代の私たちから見たら名前や用途、作り方がわからないものがあります。

「ナニコレ」は「一見すると何かわからないコレクション」あるいは「何これ?」の略なのです。展示室ではそういった資料の中からいくつかをクイズ形式で展示していますので、楽しみながら大学史を知ることができます。併せて平成27年度の新収蔵品も展示していますのでぜひ資料館展示室へご来場ください。

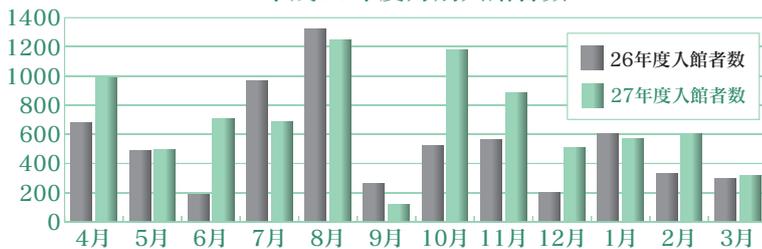
* * * * *

今年度も特別展や城内展など、学内・学外で工夫を凝らした展示の開催を企画しています。ご期待ください。

平成27年度入館者

(平成27年4月～平成28年3月)

平成27年度月別入館者数



(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年度	677	485	188	968	1,321	262	523	566	200	606	330	294	6,420
27年度	984	493	703	689	1,246	119	1,176	886	505	571	605	314	8,291

お知らせ

- 既に公開済みの文書資料データベースに続き、平成28年4月から『資料館学術資料データベース』(モノ資料)を公開しました。これにより、資料館が所蔵する多くの資料の目録が、資料館Webサイトから検索できるようになりました。



<http://clctdb.w3.kanazawa-u.ac.jp>

- 『金沢大学資料館紀要』第11号を発行しました。今号は6編の論文等と昨年度金沢大学資料館が当番館として開催した「大学博物館等協議会シンポジウム」の内容を掲載しています。資料館Webサイトからご覧ください。



- 『金沢大学資料館Virtual Museum』にデータを追加しました。附属図書館所蔵の四高教育掛図写真約300点、資料館所蔵の加賀藩校明倫堂及び経武館扁額、その他平安期仏像の写真約50点が新たに登録されました。

編集後記

4月から資料館を担当することになりました。本資料館はモノ資料だけではなく、旧制学校から引き継いだ文書のほか、金沢大学になってからの各種文書が歴史的資料として多数保存されています。これらの文書資料について、これから深くかかわっていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(土田 浩)

金沢大学資料館だより
第50号 平成28年5月27日発行



【発行/編集】金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>